

第2回運営・調整ワーキンググループの実施について

2024年9月19日に、第2回運営・調整ワーキンググループが海外鉄道技術協力協会会議室にて実施された。詳細については、下記のとおりである。

(1) 実施背景

2023年度より開始した「人材育成・マッチング委員会」では、海外鉄道技術協力協会が担うべき・期待される人材育成事業及び人材マッチング事業の具体的な方針・方策について、議論を重ね、2023年度の最終報告書を取りまとめたところである。

今般、この検討結果を踏まえ、委員会に出席の各社のうち、より少人数で人材育成プログラムや人材マッチングについて調整を行う「運営・調整ワーキンググループ」を設置した。第1回のワーキンググループは、2024年5月9日(木)に行われ、人材育成プログラムの内容や講師の選定について議論が行われた。

(2) 構成員

【メンバー】国土交通省鉄道局国際課長、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、日本鉄道システム輸出組合、独立行政法人日本貿易振興機構、独立行政法人国際協力機構、一般社団法人海外鉄道技術協力協会、株式会社野村総合研究所、株式会社TAOPartners

【進行・調整役】一般社団法人海外鉄道技術協力協会理事長

【事務局】一般社団法人海外鉄道技術協力協会、株式会社野村総合研究所、株式会社TAOPartners

(3) 実施内容

第2回のワーキンググループでは、主に3つの議題について議論を行った。まず、「人材交流・マッチングプログラムの進捗状況について」では、今年度試行している人材交流・マッチングプログラムの各案件についての協議状況を報告した。また、次年度以降、持続的なマッチングプログラムの構築を図るべく、人材を送り出す企業とのネットワーキング構築に向けた取組み方針(案)について議論を行った。

次に、「知識系講座の作成状況について」では、担当する野村総合研究所より知識系講座の全体像を共有した後、作成内容サンプルを提示し、その内容に関して審議、議論を行った。

最後に、演習系講座の体験では、各演習系講座の目的・狙い、学習方法を説明した後、現在作成中の教材である「鉄道プロジェクトマネジメントシミュレーション」の体験を各委員にさせていただきました。体験中、実務を担当したことのある委員からは、演習講座のリアリティについて高評いただいた。



(ワーキンググループの様子)



(演習講座体験の様子)

2024年度「海外鉄道インフラ展開人材育成プログラム」 実施体制及び参加予定企業・団体

人材育成プログラム開催概要

- ・ 実施期間： 2025年2月3日(月)～2月7日(金)
- ・ 開催場所： JICA市ヶ谷(東京都新宿区市谷本村町10-5)
- ・ 参加定員： 30名前後

人材育成プログラム実施体制

- ・ 主催：一般社団法人海外鉄道技術協力協会
- ・ 後援：国土交通省、経済産業省、一般社団法人日本鉄道車両工業会
- ・ 共催：独立行政法人国際協力機構(予定) 日本鉄道システム輸出組合

人材育成プログラム募集対象者

- ・ 海外鉄道インフラ展開に従事後概ね3年以内の管理職相当の者又はそれに準ずる者
- ・ 今回は試行のため、適切なフィードバックをいただきたい観点から管理職相当と記載しておりますが、1週間の連続した参加が難しい場合は、ご参加が可能な方を「それに準ずるもの」として参加いただくことも可。

参加予定企業・団体(全34社・団体) ※2024年12月6日時点 (順不同)

業種	会社名・団体名
鉄道会社	JR東日本、JR東海、JR西日本、JR九州、JR貨物、東京メトロ、東急電鉄、阪急電鉄
車両メーカー	日立製作所、川崎車両、三菱重工、日本車輛製造、総合車両製作所、近畿車輛
機器メーカー	日本信号、京三製作所、大同キャスティングス、菅沼製作所
コンサルタント、建設会社	オリエンタルコンサルタンツグローバル、日本コンサルタンツ、日本工営、鉄建建設
商社	住友商事、丸紅、三井物産、伊藤忠商事、三菱商事、双日、JR東日本商事
国及び独立行政法人等	国土交通省、経済産業省、国際協力機構(JICA)、鉄道・運輸機構(JRTT)、海外交通・都市開発事業支援機構(JOIN)